



議会だより な お し ま

2017 No. 181
平成29年10月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



積浦秋祭り (9月30日)

体験住宅・見直しては(28年度事務報告)…………… 2P
 直島港ターミナルの暑さ対策を(28年度決算質疑)…… 4・5P
 夏まつりの存続は(町長・教育長報告)…………… 6・7P
 アート作品に落書き(委員会レポート)…………… 8・9P
 高齢者の見守りサービスを(一般質問)…………… 10P
 地元の方に助けをいただきながら(U・Iターン者に聞く)………12P

体験住宅利用システム 見直しては

平成29年度第5回定例会を9月7日から14日までの8日間の会期で開催しました。
平成28年度の事務報告や一般会計・特別会計及び簡易水道事業会計の決算について慎重に審議し全員賛成で認定しました。

教育委員会委員2人の任命に同意し、一般質問では1人が町政を問いました。

平成29年度予算補正など報告2件と16議案をいずれも可決し13日に閉会しました。

事務報告(抜粋)

平成28年度は、個人所得の減収などにより、個人町民税や地方交付税が減となったことから、財源不足の解消には至らず、基金から繰入れを行うとともに有利な地方債の発行によって対処しました。

また町の将来を見据えて必要な事業を実施するため、交付税措置のある地方債の活用を図るとともに、国・県等からの支援を最大限に活用するなど、厳しいながらも健全な財政運営に努めました。

環境・文化活動や、地場産業の育成・開発など多角的経済基盤の確立を図るとともに、海の駅「なおしま」を拠点とした観光・商業のさらなる振興に結びつけ、将来にわたって継続的な交流人口増加の鍵となる瀬戸内国際芸術祭2016の開催など、第4次直島町総合計画を着実に実行するため、各種事業の推進に努力しました。

主な質疑

体験住宅の利用実績は

Q (浜口) 空き家を1軒リフォームして行っているが、昨年度の移住・定住体験で利用した人数は。

A (まちづくり観光課長) 対象が3日以上の宿泊であり、把握しているのは200人くらいだ。

Q (浜口) この移住体験住宅に宿泊して、どのような体験をしているか。

また、体験者の方から何か意見はあったか。

A (まちづくり観光課長) 担当者が、いろいろ相談にのったり、町内を案内しているようだ。

Q (浜口) 移住・定住促進のために、意見は聞いていない。



見直しては 移住体験住宅

体験住宅を利用するシステムを見直しては。

A (町長) せっかく設置した体験住宅なので、より効果が高くなるよう、今後検討したい。

大腸ガン検診なぜ

Q (石川) 大腸ガン検診は国の事業で5年間実施し、平成27年度で終了している。

しかし、28年度も検診を行っているがなぜか。

A (住民福祉課長) 町単独の事業で行った。

つり公園の改善案を

Q (丸山) つり公園の入場者が、冬場は極端に少ない。赤字経営のため、経費削減が必要だ。冬場は完全に閉めるのも一つの方法と思うが。

A (町長) 来年度から運営方法を変更するが、ご意見については検討したい。

もうひとつ新しいアートを

Q (井下) 宮ノ浦にも賑わいが必要だ。もうひとつ新しいアート施設を造ってほしいが。

A (町長) ギャラリー六区も今は閉鎖状態、ベネッセ側にも要望している。これ以上、直島にはアート施設は造らない考えのようだ。

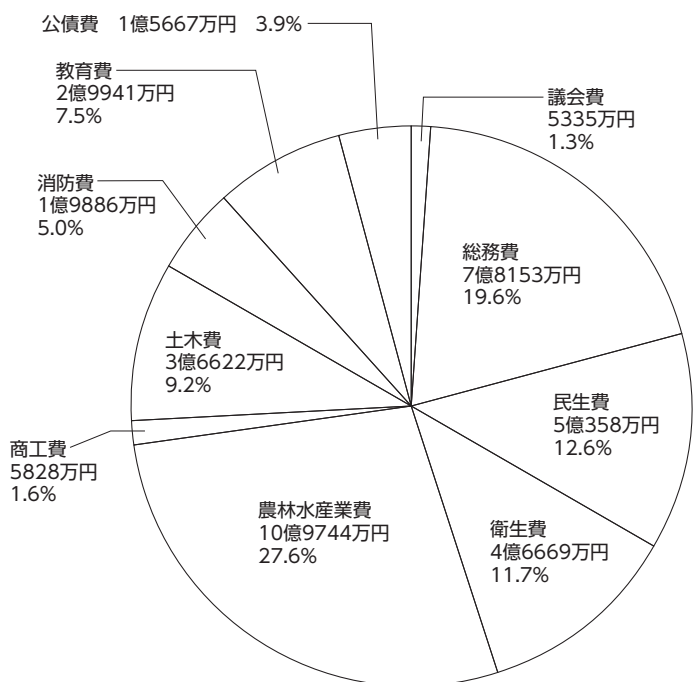
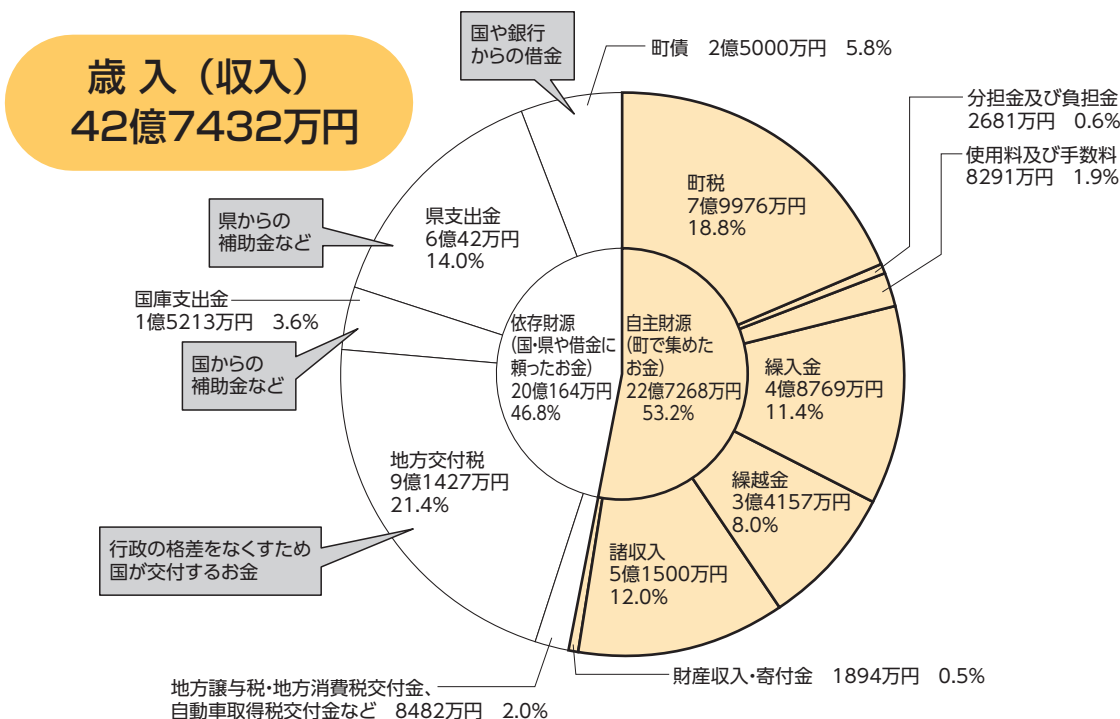


新築された町営京ノ山住宅

平成28年度 一般会計決算（歳出）

39億8203万円

平成28年度一般会計歳入歳出構成図



総	行政情報通信サービス強化など	5991万円
総	町営バス運行費	4793万円
民	介護・訓練等給付費	4022万円
民	児童手当支給	3978万円
衛	本村排水ポンプ更新工事	6458万円
衛	積浦水路改良・水路閉塞工事	1558万円
農	京ノ山地区治山工事	590万円
商	パブリオン照明灯カバー設置	124万円
土	町営京ノ山住宅新築工事	4991万円
消	デジタル防災行政無線設備整備	1億1880万円
教	小学校防火区画改修工事	3035万円
教	中学校体育館屋根等改修など	9665万円

(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります)

直島港ターミナルの暑さ対策を



四国汽船に売却した土地

一般会計

（土地売却後の動向は）

Q (蓬) 四国汽船が寮を建設するということですが、町有地を売却したが、その後の動向はどうなっているのか。

A (総務課長) 来年5月に設計を行い、2019年2月から建設に着工し、6月に完

（文書広報費の内容は）

Q (丸山) 文書広報費の委託料は、どのような内容か。

A (総務課長) 今まだタブレットは、3G回線を使用していたが、繋がりにくいことから、LTE回線の移行に伴うものだ。

成予定と聞いている。

繰出金の内容は

Q (松島) 簡易水道会計への繰出金5912万円の内容は。

A (総務課長) 辺地債や過疎債の交付税バック部分の繰出金だ。

（待合所の暑さ対策は）

Q (石川) 直島港ターミナルは、設計の段階から、夏場はターミナル内が暑くなるのではないかと言っていたはずだ。今年の夏、暑くて観光客が入らず、待合所の外で待っている状況だった。何か対策を講じないのか。

A (建設経済課長) 当時、換気扇等を設置する話があったが、雨じまいの関係で設置できなかった。設計者と相談し、対策を考えたい。

（改良費は何戸分か）

Q (石川) 住宅管理の各所改良工事費は、入居者が退去後、次の人が入居するまでに、悪い箇所を直すか、何戸分の金額なのか。

A (建設経済課長) 11戸分だ。特に本村団地は古く修理箇所が多かったのでこの金額になった。

（築後何年か）

Q (丸山) 町営住宅の古いものは何年くらい経つか。

A (建設経済課長) 古いものは20年以上経過している。



暑さ対策が必要な直島港ターミナル

信頼され 愛される診療所に

特別会計

(診療所事業)

Q (西岡) 工事請負費の各所改良は、何を行ったのか。

何を行ったのか。

A (事務長) 入口の自動ドアの修理と喫煙室廃止による内装工

事だ。

Q (石川) 県派遣の医師は1〜2年で異動するが、専門外来(泌尿器科)の先生の意向は聞いているか。

A (事務長) 泌尿器科のニーズは多く、松木先生は直島において講演活動など積極的にやりたいのとこだ。

討論

特別会計

(国民健康保険事業)

賛成 (丸山)

保険税の滞納額が1140万円出ている。徴収率の向上と医療費の適正化を図るよう努力を。

(診療所事業)

賛成 (浜口)

一般会計から1億1000



つり公園 お刺身定食

00万円の繰出金がある。患者数も毎年減っている。町民が健康で病院にかからないのなら良いが、何かほかに原因があるのではないか。安心して受診できる診療所になるよう努力を。

賛成 (丸山)

直島は小さい島なので、ちよつとした悪い噂が流れると患者が減ることにつながる。信頼され愛される診療所になるよう経営努力してもらいたい。

(釣公園事業)

賛成 (丸山)

ランチ利用者は増えているが入園者は2800人減っている。施設環境や利便性の向上を図り早急に集客対策を検討してほしい。

(国民健康保険事業)

**税等の滞納をなくし
財源の確保を**

監査報告

平成28年度の一般会計・特別会計・簡易水道事業会計について、証拠書類及び関係諸帳簿を基準として審査した結果、会計経理は適正と認めた。

(主な指摘事項)

監査委員 大林 清
同 小野 孝一

税の徴収率は高水準を維持しているが、一部で滞納が見受けられるので、完納に向けて一層の努力を願う。また、激変する経済情勢など、不透明な中で財政運営となるので、町の将来を見据え、限られた財源で最大の効果を発揮するよう望む。

《一般会計》

(国民健康保険事業)

税の滞納が増加している。保険税徴収率の向上等に努め、健全運営に一層の努力を望む。

(釣公園事業)

前年度より利用客が減っている。施設環境や利便性の向上を図り、さらなる集客対策をし、より一層の健全経営に努めるよう望む。

(簡易水道事業)

平成27年度から30年度にかけ浄水場の耐震化を目的に更新工事を実施している。多額の事業費がかかるが、住民生活に必要不可欠な水の安定供給に努め、料金の適正化等、抜本的に見直し、一層の経営健全化を望む。

夏まつりの 存続は



濱中町長

見直すべき
意見あり

(主なもの)

- 6月19日 第1回総合教育会議を中学校で開催しました。併せて授業を参観し、給食を試食しました。
 - 7月1日 出合い隊イベント第26回「島コン2017in直島」が開催され、3組のベスト1カップルと2組のベスト3以内カップルが誕生しました。
 - 7月19・20日 丸川珠代東京オリンピック・パラリンピック担当大臣他が町内文化施設等の視察に来町されました。
 - 7月29・30日 第36回直島野球交流大会が開催されました。
 - 8月5・6日 掃海艇「なおしま」が宮浦港に寄港し、歓迎セレモニー等が行われました。
 - 8月7日 台風5号が接近したことに伴い、大雨・暴風・波浪警報の発令を受けて水防本部を設置し警戒にあたりました。
 - 8月20日 和カフェぐうオープン11周年記念交流会が開催されました。
 - 8月30日 中学生・高校生海外研修事業帰国報告会が開催され、研修成果について報告を受けました。
- (活性化対策について)
- 7月9日 豊島廃棄物等処理完了式典が開催されました。
 - 7月11日 香川県の浜田知事が豊島廃棄物等処理事業完了に伴いお礼のため来庁されました。
 - 8月19日 うい・らぶ・なおしまによる「なおしま自然探検隊」が開催され、町内外から47名が参加し、磯遊びやウミホテルの観察が行われました。

主な質疑

もつりPRを

Q (小野) 小グループでも出合いの場を作れるとのことだが、実績は。

A (町長) まだ実績はない。町広報紙でPRはしている。

Q (小野) 広報紙だけでなく、他の方法でPRすべきでは。

A (町長) 会員の男性には、直接通知

どうなる夏まつり

Q (西岡) 夏まつりを存続する・しないの賛否両論があるが。

A (町長) 見直す時期との意見もあり、反省会で検討する。町としては「する・しない」ということは考えていない。

しているが、良い案があれば考えたい。



どうなる夏まつり?

火まつりの実績は

Q (松島) 火まつりの寄附金の件数と金額は。

A (町長) 寄附金は203万円で、件数は68件ほどである。

Q (井下) 見物客数は。また、町民と町外者の割合は。

A (町長) 人数は約2000人と発表している。割合については、把握していない。

まち・ひと・しごと創生推進会議は

Q (井下) 会議が開催されているが、先進地の視察も視野に入れているか。

A (町長) 総合戦略を策定しているが、その評価を検証し、見直す会議であり、視察は考えていない。



感動した花火(火まつり)



原教育長

動向を見て
検討したい

夏休み 短縮の実施は

(主なもの)

- 6月16日 婦人会の今後の存続の方向性について協議しましたが、結論に至らず今後も協議を継続することとなりました。
- 6月18日 文化協会芸能大会が開催され、町から14団体、延べ105人の出演者があり、香川町から9人の特別出演もありました。
- 6月27日 幼小中合同研修会が開催され、遊びを通して成長していく子どもたちの姿が印象的でした。鳴門教育大附属幼稚園の佐々木園長の指導・講話は非常に有意義でした。
- 7月19日 いじめ問題への強化に向けたヒアリングのため県教委義務教育課と東部教育事務所から2人来庁し、早期発見のための工夫等について質疑応答を行いました。
- 7月21日 婦人会ふれあい交流会が開催され30人が参加し、外国出身者は6人でした。
- 7月29・30日 野球交流大会が開催され、8チームで交流試合を行いました。
- 8月4日 わんぱく寺子屋が開催され、日赤奉仕団や吉野石膏青年部6人の協力を得て、参加した59人の小学生は元気に活動しました。
- 8月16日 中学生・高校生海外研修出発式を開催し、激励の言葉のあと生徒代表が抱負を述べました。
- 8月25日 四国ブロック町村教育長協議会が開催され、今日的な課題（英語教育・教職員の資質向上等）について研究協議を行いました。

主な質疑

夏休みの短縮は

Q

(小野) 夏休みを短縮する記事があったが、実施しているところがあるのか。

A

(教育長) 県でもいくつかの市町で実施している。動向を見て検討したい。

個別面談を実施

Q

(丸山) いじめを早期に見発見するた

A

(教育長) 中学校では、以前から試験発表期間を利用して行っている。

Q

(井下) わんぱく寺子屋ではいろいろな団体の協力を得ているが、その経緯は。

A

(教育長) 県の危機管理課は町の要

め、小学校では個別面談をするようだが、中学校では何か行っているのか。



バケツリレーもしました (わんぱく寺子屋)

請で、日赤奉仕団は以前から協力してもらっている。吉野石膏の青年部は、昨年秋に申し出があった。

婦人会の組織強化を

Q

(松島) 婦人会は高齢化が進んでいる。若年層を勧誘しては。

A

(教育長) これまでも努力してきたが、なかなか進まないのが現状であり、今以上は難しいのが実感だ。

採用の見直しは

Q

(蓬) 幼児学園の正規教諭の採用見直しは。

A

(教育長) 小さい町なので計画的に行うのは非常に難しい。欠員ができた時点で募集をかけるのが現状である。



授業の内容は

Q

(丸山) 来年度から小学校で道徳の授業が始まるが、どのような内容を教えるのか。

A

(教育長) さまざまな項目にわたって、子どもが自発的に考え、学ぶことになる時間になる。

活性化対策特別及び合同常任委員会を業等の報告を受け、議論を交わしました。



石川 委員長

落書き

対策は

〔総務課〕

夜間に2時間停電

○6月16日 宮ノ浦地区の一部で夜間に約2時間停電した。原因は蛇が電柱で感電死したため。

夏季訓練を実施

○7月18日 消防団員78人、婦人防火クラブ16人が参加。

防犯カメラを設置

海駅の駅付近で芸術作品等に落書き

A

されているが対策は、補正予算が承認され次第設置する。

〔まちづくり観光課〕

建築鑑賞ツアー

○7月18日 直島建築の鑑賞ツアーを実施。教育施設など公共施設を職員が案内・説明し、町の理解を深めてもらっている。

ふるさと納税

○7月末までに193件676万円の納税があった。

〔教育委員会〕

海岸等の清掃を実施

○7月15日 子ども会の清掃奉仕活動を実施。子ども104人、育成者57人が参加した。

わんぱく寺子屋

○8月4日 毎年行っている事業だが、今年はいろいろ工

夫して、遊びやレクリエーション的なものだけでなく、未来に訪れるであろう南海トラフ地震などについても勉強した。

実行委員会を開催

○8月15日 来年の成人式実行委員会を開催。

成人式は例年1月4日に行っていたが、来年からは三が日を除いた最初の土曜日に行うことになった。来年は1月6日に行うことになった。

出発式を開催

○8月16日 中学生・高校生海外研修事業の出発式を実施した。



イギリスに向けて出発します

宅地造成を計画!

活性化対策特別



蓬 委員長

7月3日、委員会を開催しました。

議題は、執行部より示された人口流出の抑制や移住・定住の促進を図るための、宅地造成計画についてでした。

具体的には

○第1候補地として積浦地区に40区画

○第2候補地として内新田地区に38区画

○第3候補地として納言

様地区に31区画

の、どの候補地が最適か、議会としての考えを議論しました。(委員から)

・広大な宅地造成しても全部売れる保証はない。

・どの地区に家を建てたいのかわからない部分がある。

・3候補地以外にも適当な空地もあり、町有地として確保すべき。

など意見が出され、議会としては第1候補地の積浦地区に、10区画程度の宅地造成を早く始めることで一致しました。

積浦地区に

11区画

8月17日、町長ほか執行部出席のもと、委員会を開催し、宅地造成について協議しました。(執行部から)

「宅地造成事業を早急に進める必要があり、計

エアコン設置で 快適教室



小野 委員長

8月17・18日の両日、開催し、各課からの現状・事主なもののみ報告します。

〔ふれあい診療所〕

(平成29年4月～7月)

- 外来患者 5087人
- 入院患者 457人
- 時間外救急患者 136人
- 泌尿器科 99人

〔病院食提供の今後は〕

Q 病院食の試食会をさせてもらったのは良かった。今は業者に委託しているが、今後町内で作ってくれる方がいた場合どうするのか。

A 4月からスタートしたばかりなので、とりあえず今の状況で様子を見たい。

〔建設経済課〕

- 6月17日 直島コメづくりプロジェクト2017コメの体験「田植え」が開催されました。
- 6月25日 三分一博志氏設計の直島ホールが建築学会賞とウォールペーパー・デザインアワード公共建築部門最優秀賞受賞を祝う会がありました。

〔残る工事どうするか〕

Q 小・中学校のエアコン設置工事が夏休みが終わっても少し残るようだが、どうするのか。

A 8月中にほとんど終わる。9月に入ったら、土・日を利用して完了させる。児童・生徒の皆さんには、迷惑をかけるように注意している。

〔住民福祉課〕

- 6月23日 戦没者追悼式を開催。
- 8月4日 夏季見舞金を配布。

〔何を検討したのか〕

Q 夏季見舞金の検討とはどういったことなのか。

A 要綱の中に、支給対象者になるかの情報や近況等を調査して支給することになっており、その検討を行った。

〔環境水道課〕

- 7月9日 豊島廃棄物等処理完了式典及び豊島市より「海底送水管までの玉野市側の地中に埋まっている部分は、設置して50年が経過しており、今後何年かけて管の更新をしたい。工事は玉野市で行うが、工費は直島町で負担をお願いしたい」と話があった。



教室にエアコン設置

〔玉野市より相談を受ける〕

- 7月15日 ごみ0ヶ掃を行いました。

画の中にあつた3案中、第1候補地の積浦に11区画(1区画70坪前後)を造成・分譲する予定。スケジュールとしては29年度より地権者への事業計画の説明と現地調査の承諾依頼、29年度から30年度に地形調査・地質調査実施、30年度中に造成工事を行い、31年度当初から分譲を開始したい」との案が示されました。

(委員から)
○造成地に杭打ちはするの
○転売防止も考える必要がある
○安く売っても、人口増による交付税措置で大きなメリットがある
○UITターン者や島外通勤者への情報発信も必要だ
○分譲の条件は明確に、など、多くの質疑がありました。



積浦宅地造成予定地

町長に問う



西岡 議員

内容は質問者の責任において作成しています。

高齢者の見守りサービスを

〔町長〕見守り体制は充実している

高齢者の孤独死が、全国的に増加し社会問題になっている。

日本の人口の4分の1が65歳以上を占め、100人に1人が高齢者の1人暮らしのため、年間3万人の方が孤独死する悲しい現実がある。

高齢化している我が国にとっては、大きな問題であることから、各自治体では、見守り支援サービス事業を行っている。本町においても180〜200人の高齢者が1人暮らしだが、何らかの対策が必要である。

他の自治体では、さまざまな支援事業を展開しているが、自治体だけでは対応が難しいこともあり、地域のコミュニティや、郵便局・宅配業者等に協力を得ている。また電話会社やセキユ

リティイ会社と連携して、体調の悪い時など、設置しているボタンを押すだけで、管理機関に連絡がいき、適切な対応をしてくれるものを実施している自治体もある。

本町においても、対岸の火事ではなく、不測の事態を防ぐためにも、早期の対応が必要ではないのか。

今以上に隣近所や郵便局、他の事業者との連携を密にして、安心安全な支援サービスを提供してはどうか。

A

〔町長〕本町では、社会福祉協議会が

実施しているものに、

①緊急通報装置設置事業は、近隣の2〜3人の方に協力して頂き、緊急ボタンを押すと駆けつけてくれる支援事業。

②1人暮らし高齢者等



緊急通報装置 (あんしんS6)

見守り支援事業は、週に1回程度訪問して安否確認を行い、他の支援事業が必要か、把握する事業。

③給食サービス事業は、毎月第2、第3、第4火曜日に給食を自宅まで配達し、同時に健康状態等を確認する事業。

また、町と郵便局、高松北署とで、地域安全協定書を交わしており、1人暮らしの高齢者への声



自宅まで配達してくれる給食サービス

かけを日頃から実施している。

新たな事業として、町内全戸に配布しているタブレット端末を活用した安否確認サービスを検討している。

他の自治体に比べると見守り体制は充実していると考えている。

Q

社会福祉協議会がさまざまな支援事業を展開し、心強い部分もあるが、他の自治体や介護施設、病院等に導

A

〔町長〕調べて、良い物なら検討する。

入している見守り支援システム「いまイルモ」という感知センサーで人の動きを感知し、不測の事態には、管理者が対応するものだが、本町に採用してはどうか。

平成29年度 予算補正

一般会計

- 繰越金 2175万円追加
- 歳入の主なもの
 - 歳入歳出予算の総額に3941万円を追加し、35億3016万円となりました。
 - 国庫補助金 136万円追加
 - 県補助金 430万円追加
 - 指定寄附金 1200万円追加
- 歳出の主なもの
 - ふるさと応援基金 1200万円追加
 - 住基システム改修 160万円追加
 - 宅地造成事業に係る測量調査等 850万円追加
 - 小型動力ポンプ積載車購入 603万円追加



購入予定の同型車

委員さんよろしく

人

事



稲谷 潤 氏

教育委員会委員に稲谷潤氏を再任
同意しました。
任期は平成29年12月5日から平成
31年3月31日まで



下津 公恵 氏

教育委員会委員に下津公恵氏を再
任同意しました。
任期は平成29年10月1日から平成
33年9月30日まで



雨水ポンプ場予定地（宮浦港駐車場付近）

臨時議会

7月3日、臨時議会を開催し、議案1件を可決しました。

工事請負契約

宮ノ浦地区の雨水対策にポンプ場を整備する工事

- 契約方法 指名競争入札
- 契約金額 2億1308万円
- 契約の相手方 (株)鶴見製作所四国支店
- 工期 町指定日から平成31年3月22日

地元の方に 助けていただきながら



川崎光紘さん、菜美さん、向晟君

忙しいところ少しお時間をください。
はじめに、いつ頃直島に来られましたか。
光 昨年の12月に移住が叶いました。
Q それまではどちらにお住まいでしたか。きっかけは。
光 東京で共働きをしておりました。
菜 きっかけは私が学生の頃に直島を訪れた事があり、この直島で生活し、子育てができたらいなと思ったからです。
Q お子さんのお名前は。何歳ですか。

町役場を通り過ぎると、コーヒーのいい香りがしてきます。今回はコーヒーショップ『FRANC O i L A N C O i L E』を営むIターンの川崎光紘さん、菜美さんご夫婦のご登場です。
Q 川崎光紘さん、菜美さん、

菜 向晟（こうせい）と名付けました。9月16日で0歳7カ月です。
Q お店、大変きれいですね。『FRANC O i L E』の名の由来は。
光 直島の名の由来にちなんでおります。
FRANC O（フランス語で『島』、合わせて『フランコイル』です。オリジナルな造語です。
Q もう島生活には慣れましたか。島生活で感じることは。

菜 初めての出産、子育て、開業、移住と目まぐるしい毎日ですが、ありがたいことに多くの皆様に助けていただきながら日々過ごしております。
Q カフェの奥が住まいですか。
光 奥は別棟でゲストハウスを2部屋営んでおります。住居はカフェの2階です。
Q また、瀬戸芸が開催予定ですが、受入れ体制等についてのご意見は。



エスプレッソマシンで抽出

光 移住当初より、多くの地元の方に助けていただきながら、ようやく生活のリズムが作れてきました。
光 かつての僕たちがそ

今日はお忙しいところありがとうございます。これからも、おいしいコーヒーを皆さんに提供してくださいね。

夫婦2人でのマンパワーでは、カフェ営業が厳しい状況ですが、ゲストハウスの準備が終わり次第営業しております。自家焙煎珈琲や、エスプレッソマシンで抽出する珈琲メニューを、是非一度お召し上がりください。3時のお茶の時間には営業しております。



おいしいコーヒーをどうぞ

編集後記

紅葉が始まり、朝晩がヒンヤリと秋の訪れを感じる季節となりました。皇室の眞子様婚約が決まり、嬉しい報道がありました。そして、日本陸上界初の9秒台を出した桐生選手に世界一の期待も高まり、東京オリンピックが楽しみですね。しかしながら、毎日のように北朝鮮の情勢報道がなされ、弾道ミサイルの発射実験を繰り返し、核兵器の開発と過激な挑発を行っております。アメリカや日本を含めた近隣諸国は今後は、どうなるのか不安と怒りがつのるばかりです。北朝鮮の動向から目が離せないが、平和的な解決を望みたいものです。
(西岡記)

- 議長 小林 眞一
委員長 丸山 義朗
副委員長 石川 知久
委員 西岡裕喜広
濱口 敏夫
小野 孝一
蓬 清二
井下 良雄